

登壇者プロフィール

● 丸山 泰弘 さん

立正大学法学部教授
一般社団法人「刑事司法未来」理事

テーマ 「1989年米国で始まったドラッグ・コートの
展望と課題から日本への示唆を提案」

博士(法学)。市民の、市民による、市民のための刑事政策がモットー。刑事政策・犯罪学を専門とする日本で唯一の民間研究所「龍谷大学矯正・保護総合センター」で研究員を経て現職。2018～20年、米カリフォルニア大学パークレーで客員研究員。ポッドキャスト「丸ちゃん教授のツミナハナシ」のメインMC。著書に「死刑について私たちが知っておくべきこと」(筑摩書房2025年)

● 加藤 武士 さん

一般社団法人「回復支援の会」「木津川ダルク」「奈良ダルク」代表
京都府相楽地区 保護司
一般社団法人「刑事司法未来」理事

テーマ 「アディクションとスティグマ」

依存症当事者の地域社会での回復と自立を支援するため、障害福祉サービス事業を展開するほか、龍谷大学などで非常勤講師として啓発活動に注力する。タイや韓国の回復者コミュニティとの国際交流など多角的なアプローチで、地域福祉の発展に貢献している。

● 高坂 朝人 さん

一般社団法人「日本自立準備ホーム協議会」代表

テーマ 「自分と未来は変えられる。でも、1人では変えられない」
出所者の社会復帰に大切なこと

元非行少年としての経験を原点に、18年にわたり非行・犯罪からの立ち直り支援に取り組む。現在は自立準備ホームの運営や障害福祉サービス事業を通じた支援のほか、保護司の活動を行っている。また、全国組織の自立準備ホームの運営や全国の少年院訪問などを通じて、県域を超えた連携と支援に取り組む。

● 和田 明美 さん

元毎日新聞記者 ジャーナリスト

テーマ 「薬物依存症の背景と回復」

20年以上、薬物依存症などアディクションの回復支援や、精神科医療の問題点を取材。著書に「薬物依存をのり越えて」(新水社2009年)。2026年夕刊紙「日刊ゲンダイ」で「実録 精神医療後進国につぼん〜クスリ漬け収容」を連載。精神科病院や刑事施設への収容から「地域で回復へ転換」を目指し講演など全国で展開中。

福祉・治療的司法とは

拘禁刑の先にある「地域での回復」を語り合おう



加藤 武士さん
一般社団法人
「回復支援の会」
「木津川ダルク」代表



高坂 朝人さん
一般社団法人
「日本自立準備ホーム協議会」
代表



和田明美さん
元毎日新聞記者
ジャーナリスト



丸山 泰弘さん
立正大学法学部教授
一般社団法人
「刑事司法未来」理事

大阪 **8月22日(土)** 13時～16時30分

(12時30分開場)

 オンライン参加あり



場 所

大阪市立中央会館 (大阪市中央区島之内2-12-31)
大阪メトロ 長堀橋駅・日本橋駅 7～10分



参加費

- ・一般 3,000円
- ・学生 1,000円
- ・障害者手帳お持ちの方 **無料**
- ・クラファン「精神病院から地域で回復へ転換」の
「シンポジウム参加券」支援者 **無料**
- ・後日見逃し配信 3,000円



参 加

会場、オンラインを選べます (定員: 会場200人 オンライン300人)
※会場受付で学生証、障害者手帳を提示してください

* 収益は別の都市で開催するシンポジウムに活用されます

申し込みは
こちら

8月19日正午まで



問い合わせ:

 wadaakemitomiraiwotukurukai@gmail.com

主 催: 和田明美と未来を創る会
(市民運動団体)